

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

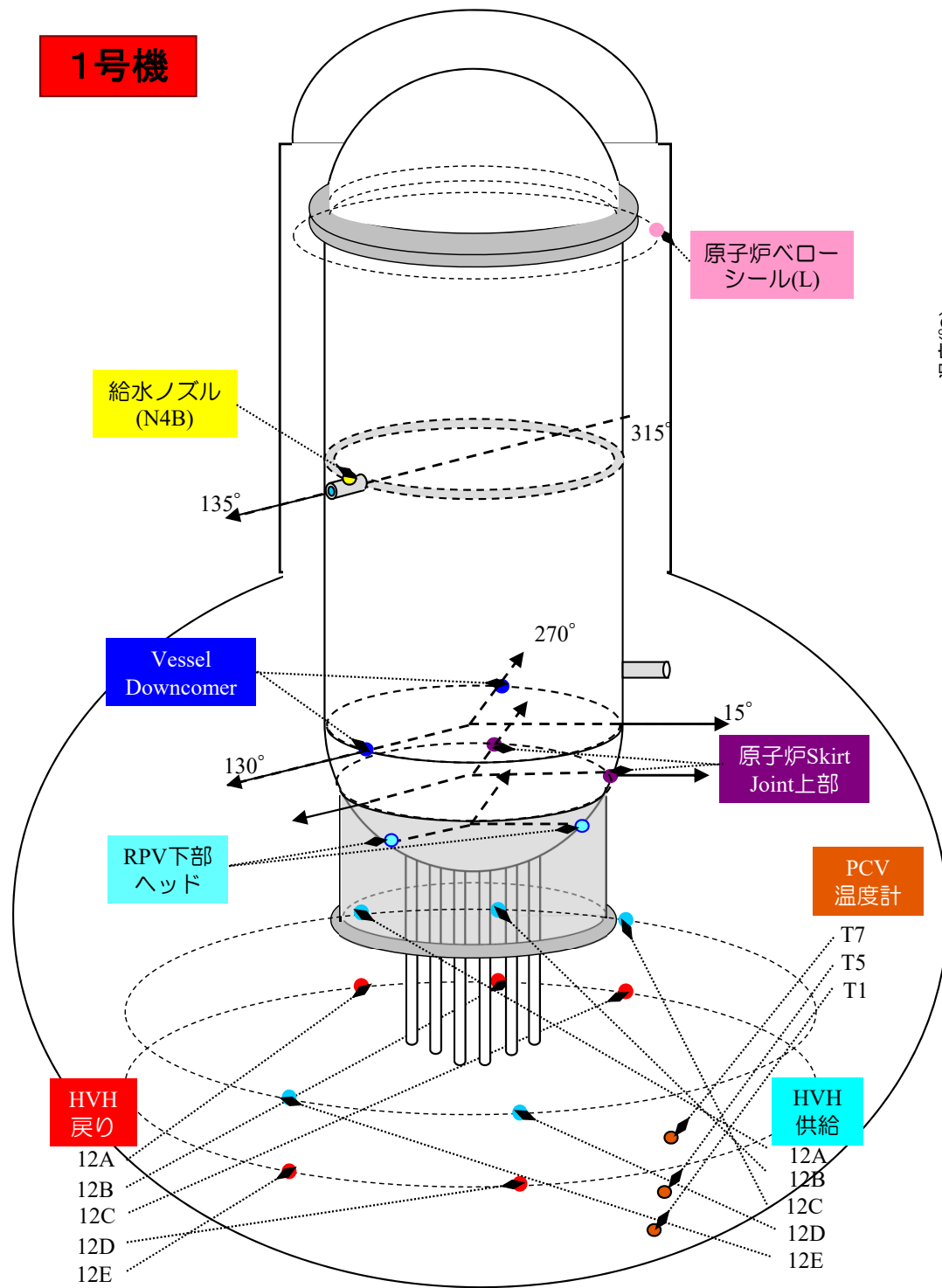
号機	1号機		2号機		3号機	
	11月22日	12月21日	11月22日	12月21日	11月22日	12月21日
原子炉注水状況	給水系：2.6m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (11/22 11:00 現在)	給水系：2.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (12/21 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：1.7m ³ /h (11/22 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：1.6m ³ /h (12/21 11:00 現在)	給水系：3.5m ³ /h CS系：0.0m ³ /h (11/22 11:00 現在)	給水系：3.5m ³ /h CS系：-m ³ /h ※6 (12/21 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：22.5°C VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：21.3°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：21.9°C (11/22 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：18.3°C VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：17.1°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.7°C (12/21 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：32.0°C RPV Temperature (TE-2-3-69R)：31.0°C (11/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：27.4°C RPV Temperature (TE-2-3-69R)：26.2°C (12/21 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：26.5°C VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：26.2°C (11/22 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：21.4°C VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：21.6°C (12/21 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：21.9°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.9°C (11/22 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：17.7°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.7°C (12/21 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：32.4°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：32.1°C (11/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：27.9°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：27.8°C (12/21 11:00 現在)	PCV Temperature (TE-16-002)：24.6°C SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：26.4°C (11/22 11:00 現在)	PCV Temperature (TE-16-002)：19.9°C SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：21.4°C (12/21 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.17kPa g (11/22 11:00 現在)	0.24kPa g (12/21 11:00 現在)	3.81kPa g (11/22 11:00 現在)	4.04kPa g (12/21 11:00 現在)	0.46kPa g (11/22 11:00 現在)	0.45kPa g (12/21 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.41Nm ³ /h (JP-A)：15.56Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/22 11:00 現在)	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.62Nm ³ /h (JP-A)：15.69Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/21 11:00 現在)	RPV-A：6.59Nm ³ /h RPV-B：6.46Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/22 11:00 現在)	RPV-A：6.64Nm ³ /h RPV-B：6.56Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/21 11:00 現在)	RPV-A：8.27Nm ³ /h RPV-B：7.89Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/22 11:00 現在)	RPV-A：8.42Nm ³ /h RPV-B：8.00Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (12/21 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (11/22 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (12/21 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.08vol% (11/22 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (12/21 11:00 現在)	A系：0.13vol% B系：0.13vol% (11/22 11:00 現在)	A系：0.14vol% B系：0.13vol% (12/21 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：1.19E-03Bq/cm ³ B系：1.27E-03Bq/cm ³ (11/22 11:00 現在)	A系：6.86E-04Bq/cm ³ B系：1.40E-03Bq/cm ³ (12/21 11:00 現在)	A系：ND(1.2E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.2E-01Bq/cm ³ 以下) (11/22 11:00 現在)	A系：ND(1.2E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.2E-01Bq/cm ³ 以下) (12/21 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) (11/22 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) (12/21 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	22.2°C (11/22 11:00 現在)	21.0°C (12/21 11:00 現在)	20.9°C (11/22 11:00 現在)	20.0°C (12/21 11:00 現在)	-°C ※5 (11/22 11:00 現在)	-°C ※5 (12/21 11:00 現在)
FPC 水位	2.63m (11/22 11:00 現在)	4.02m (12/21 11:00 現在)	3.59m (11/22 11:00 現在)	3.91m (12/21 11:00 現在)	3.30m (11/22 11:00 現在)	3.97m (12/21 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	11月22日	12月21日	11月22日	12月21日	11月22日	12月21日
使用済燃料 プール水温度	-°C ※4 (11/22 11:00 現在)	-°C ※4 (12/21 11:00 現在)	20.8°C (11/22 11:00 現在)	19.7°C (12/21 11:00 現在)	20.3°C (11/22 11:00 現在)	18.5°C (12/21 11:00 現在)
FPC 水位	6.67m ※4 (11/22 11:00 現在)	3.31m ※4 (12/21 11:00 現在)	2.55m (11/22 11:00 現在)	2.60m (12/21 11:00 現在)	2.70m (11/22 11:00 現在)	2.55m (12/21 11:00 現在)

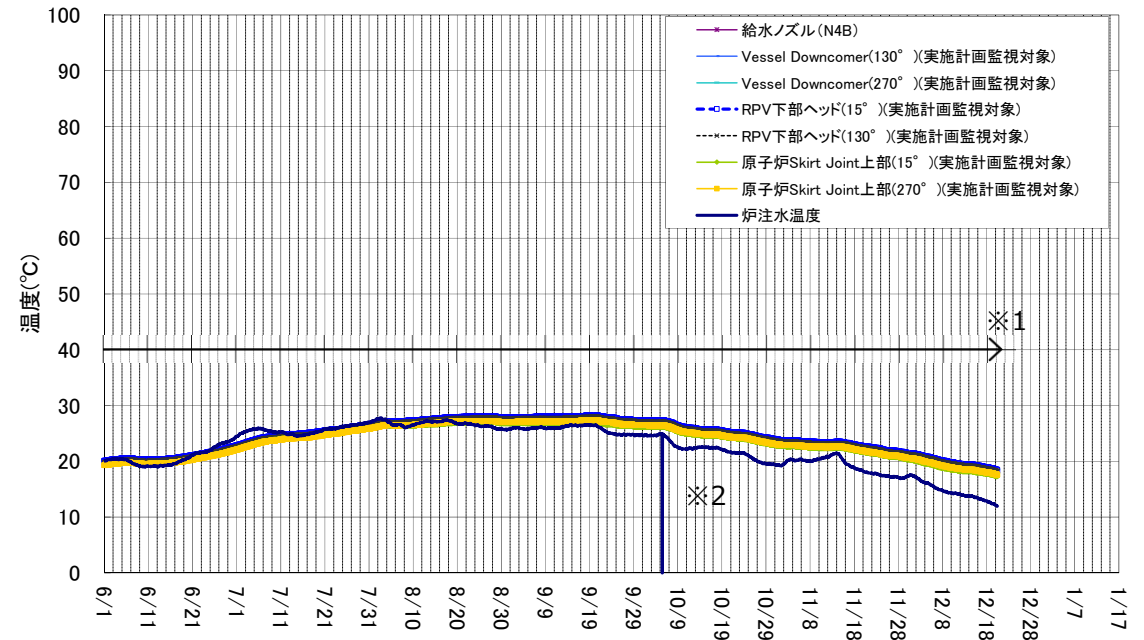
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 4号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。
 ※5: 3号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。
 ※6: 作業に伴いデータ欠測

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15°C～約30°Cで推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

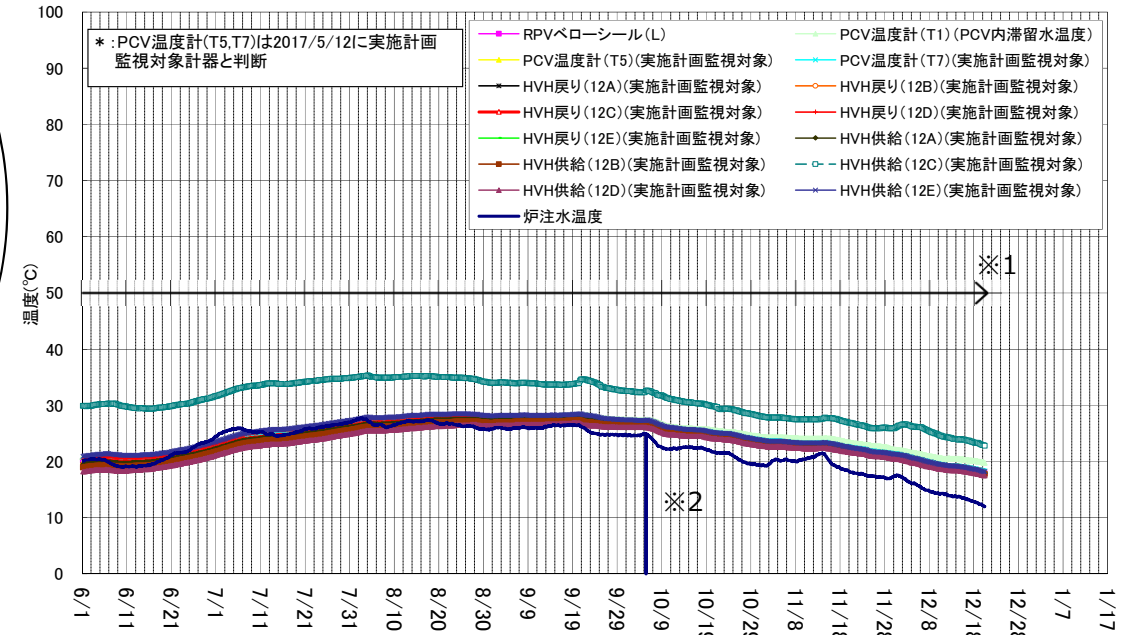
1号機



1号機 原子炉圧力容器まわり温度(6/1~12/20)

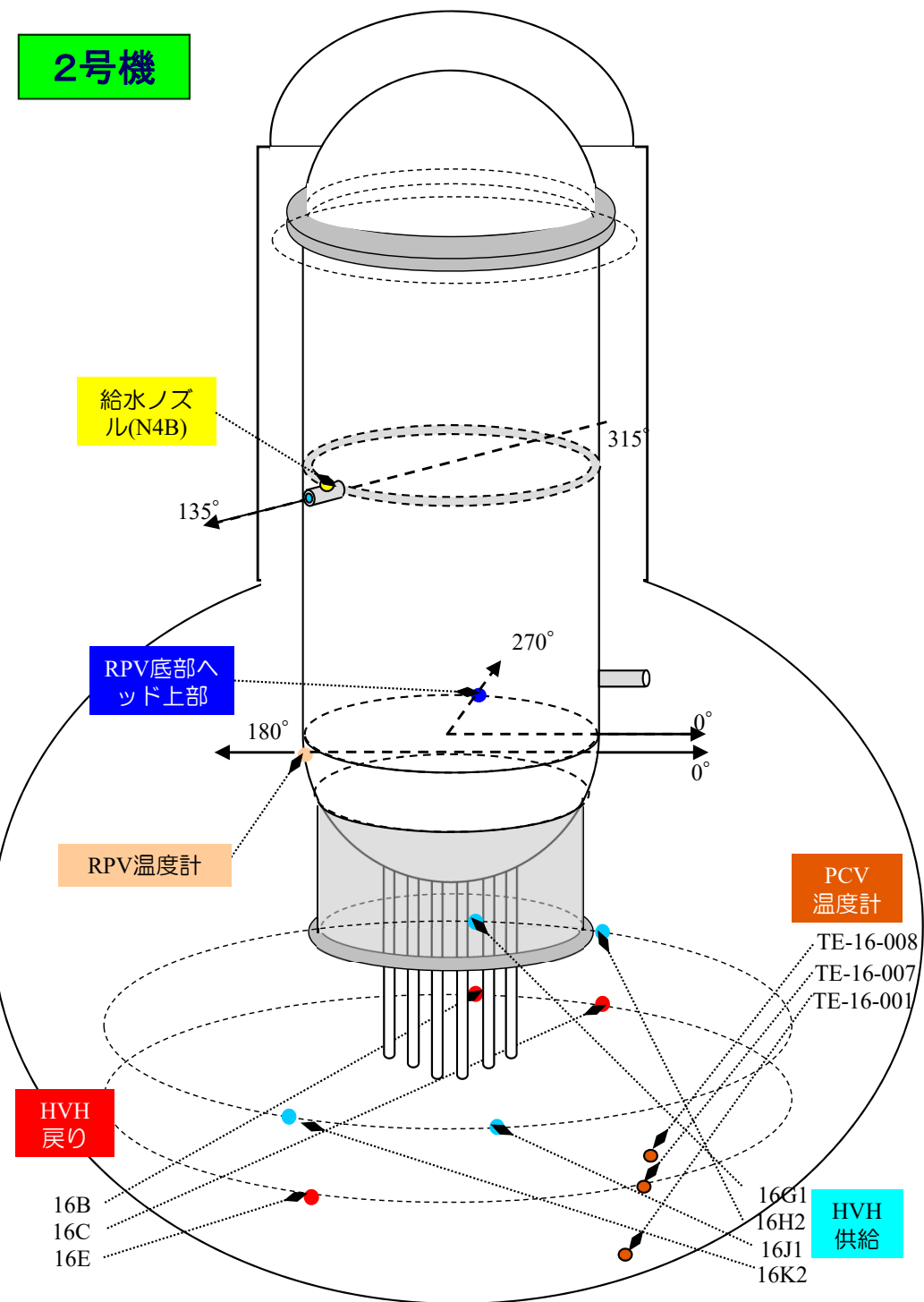


1号機 D/W雰囲気温度(6/1~12/20)

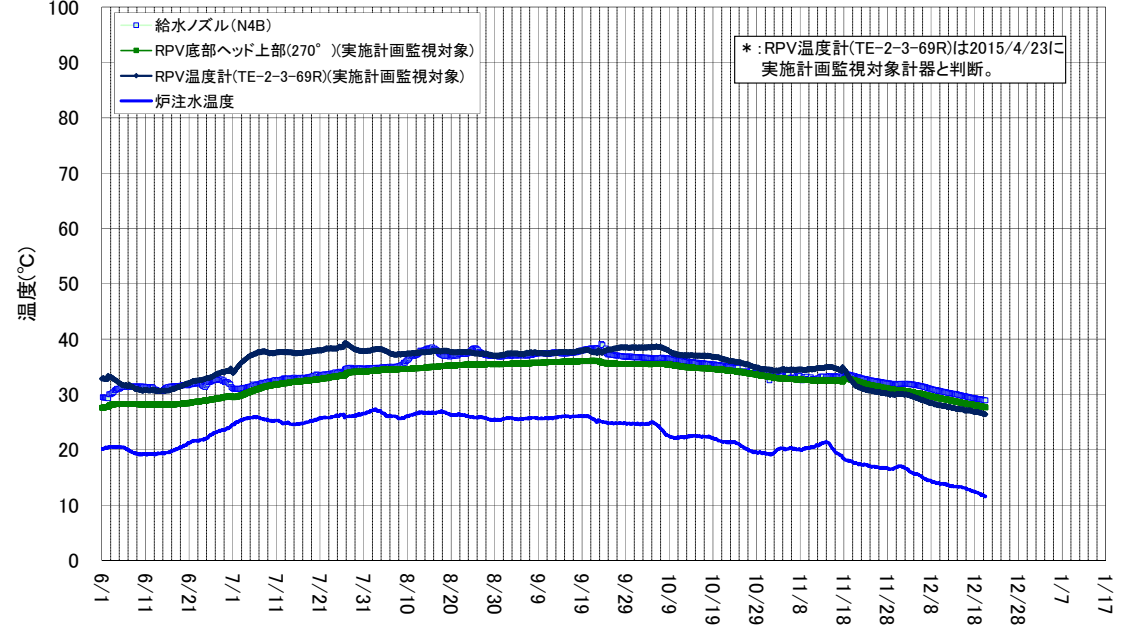


※1 2021/6/11~PCV内減圧(期間中大気圧の変動及びAWJ作業に伴い一部の温度計のデータが変動)
 ※2 2022/10/5 計装品点検に伴い一時的にデータ欠測

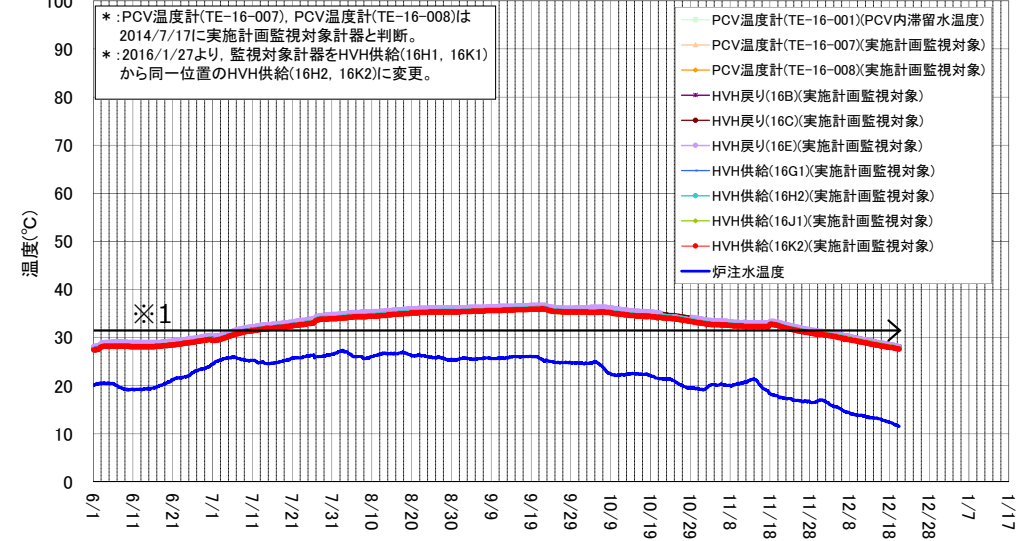
2号機



2号機 原子炉圧力容器まわり温度 (6/1~12/20)

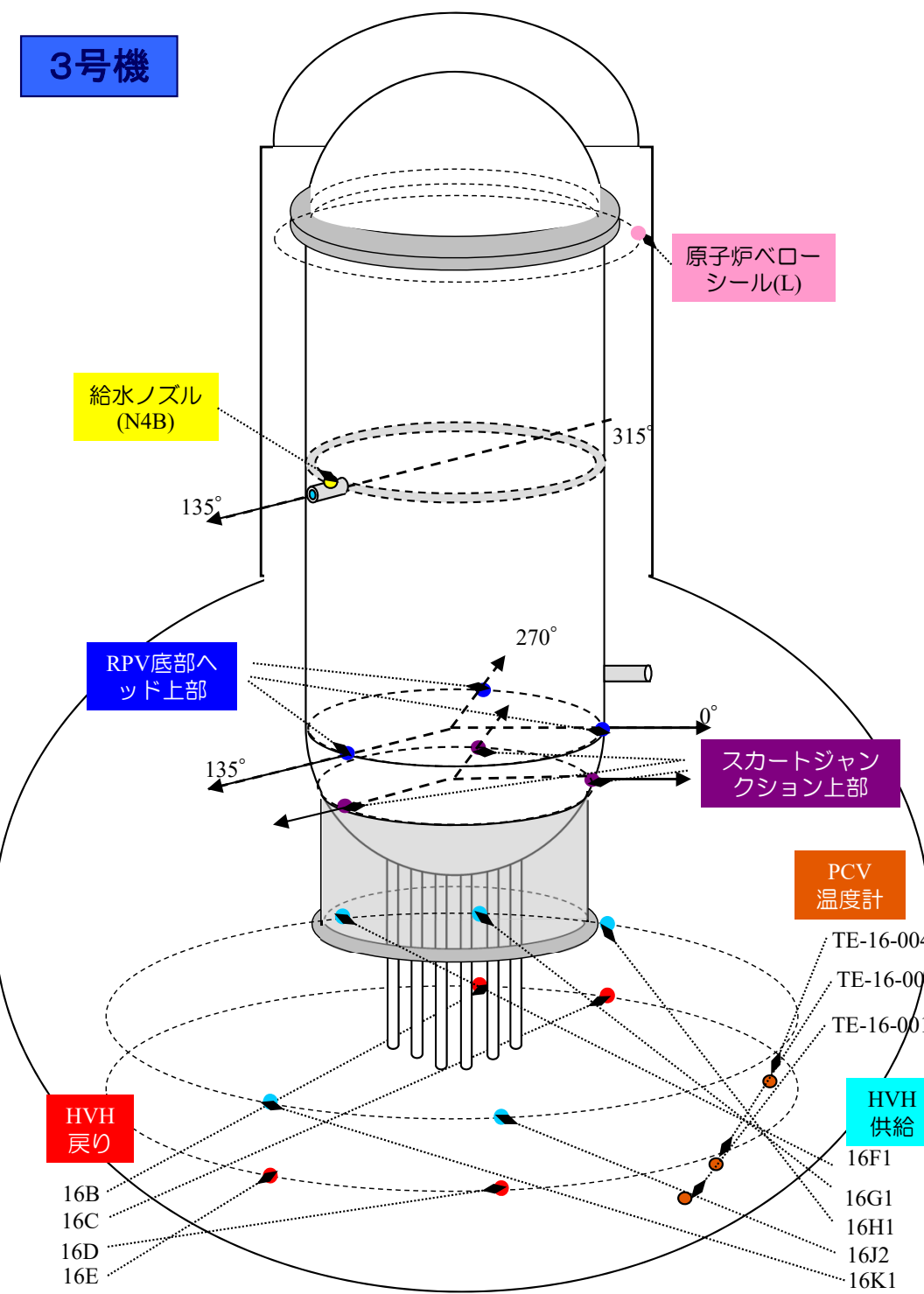


2号機 D/W雰囲気温度 (6/1~12/20)

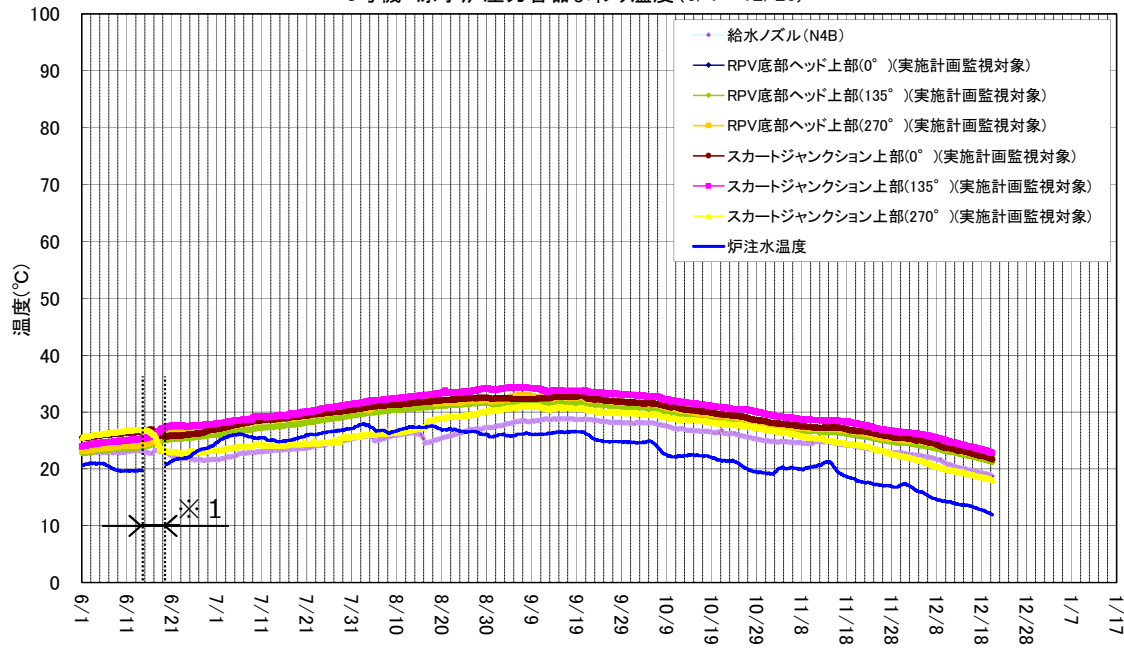


※1 2020/11/10~ PCV内部調査及び試験的取り出しの準備作業に伴い一部の温度計 (TE-16-001,007,008) のデータが欠測

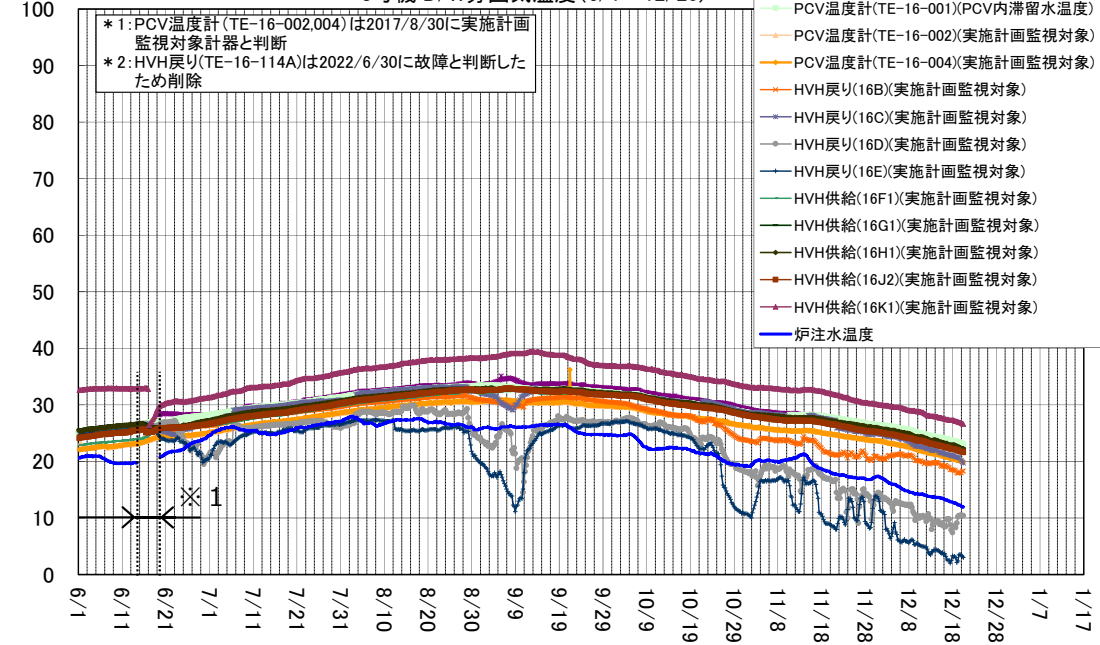
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(6/1~12/20)



3号機 D/W雰囲気温度(6/1~12/20)



※1 2022/6/14~6/19 原子炉注水停止試験実施

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1～4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5、6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約1,090 m ³	- (水抜き完了)
2号機	約1,130 m ³	- (水抜き完了)
3号機	約1,550 m ³	- (水抜き完了)
4号機	約10 m ³	- (水抜き完了)
合計	約3,780 m ³	

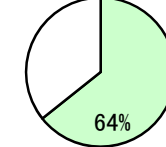
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約5,270 m ³	T.P.-421
高温焼却炉建屋	約2,840 m ³	T.P.103
合計	約8,110 m ³	

(合計):+480[m³/4週] (合計):-210[m³/週]

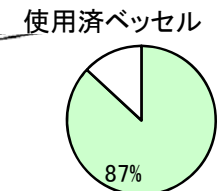
	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	677 m ³	1,200 m ³
SPT(B)	827 m ³	3,100 m ³
合計	+164[m ³ /4週]	(合計):+131[m ³ /週]

④廃棄物発生量

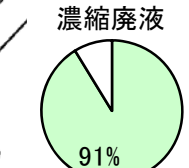
廃スラッジ



保管量:450/700[m³]*3

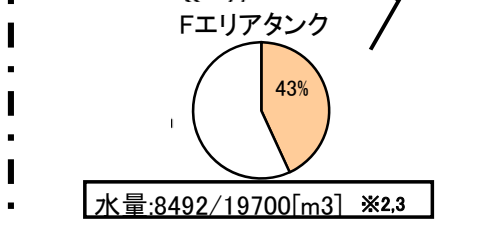


保管量:5483/6308体*1



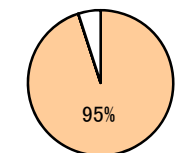
保管量:約9395/10300[m³]*3
水位計0%以上の保管量:9295[m³]
タンク底部～水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c ALPS処理水等
- ②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート

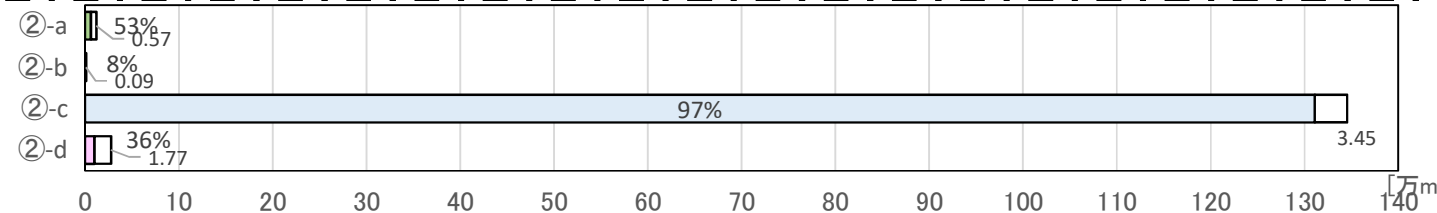


③5、6号機タンク貯蔵量

タンク総容量



②+③タンク貯蔵量合計

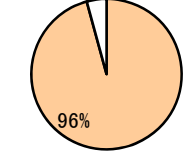


②-a RO処理水(淡水)	②-b 濃縮塩水(残水)	②-c ALPS処理水等	②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
水量:約6305/12000[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:6205[m ³] タンク底部～水位計0%の水量(DS):約100[m ³]	水量:約100/1000[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:約0[m ³] タンク底部～水位計0%の水量(DS):約100[m ³]	水量:約1311044/1345500[m ³]*2,3,4,6 水位計0%以上の水量:1308644[m ³]*7 タンク底部～水位計0%の水量(DS):約2400[m ³]	水量:約9877/27600[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:9677[m ³]*7 タンク底部～水位計0%の水量(DS):約200[m ³]

-1481[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] -526[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	±0[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] ±0[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	+1849[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] +475[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	+492[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] +254[m ³ /週]/±0[m ³ /週]
---	--	---	--

②1～4号機タンク貯蔵量

1～4号機タンク総容量



水量:約1340700[m³]*5

+1294[m³/4週]*5
+4[m³/週]

建屋内貯蔵量
+
1～4号機タンク貯蔵量
(①+②)

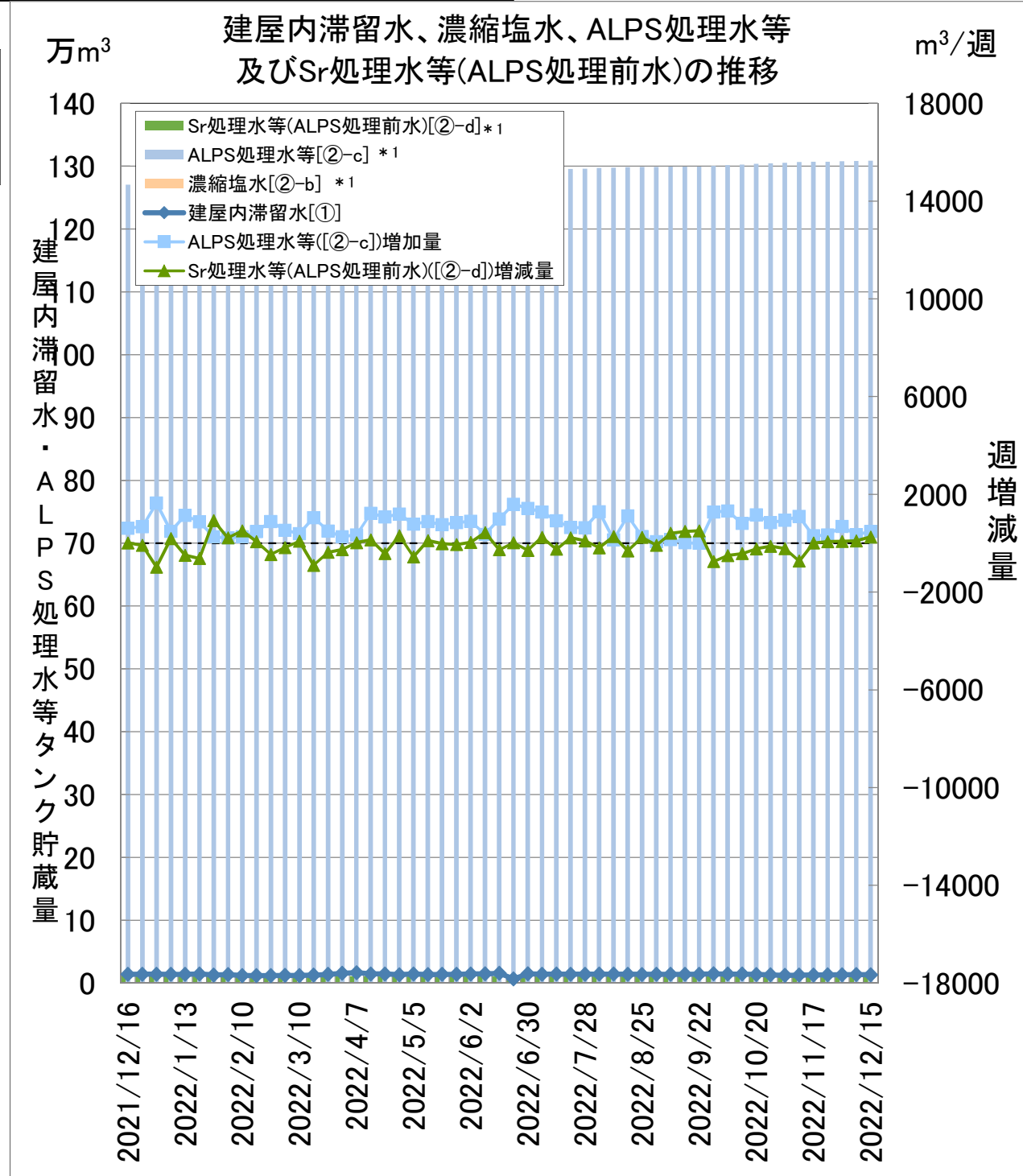
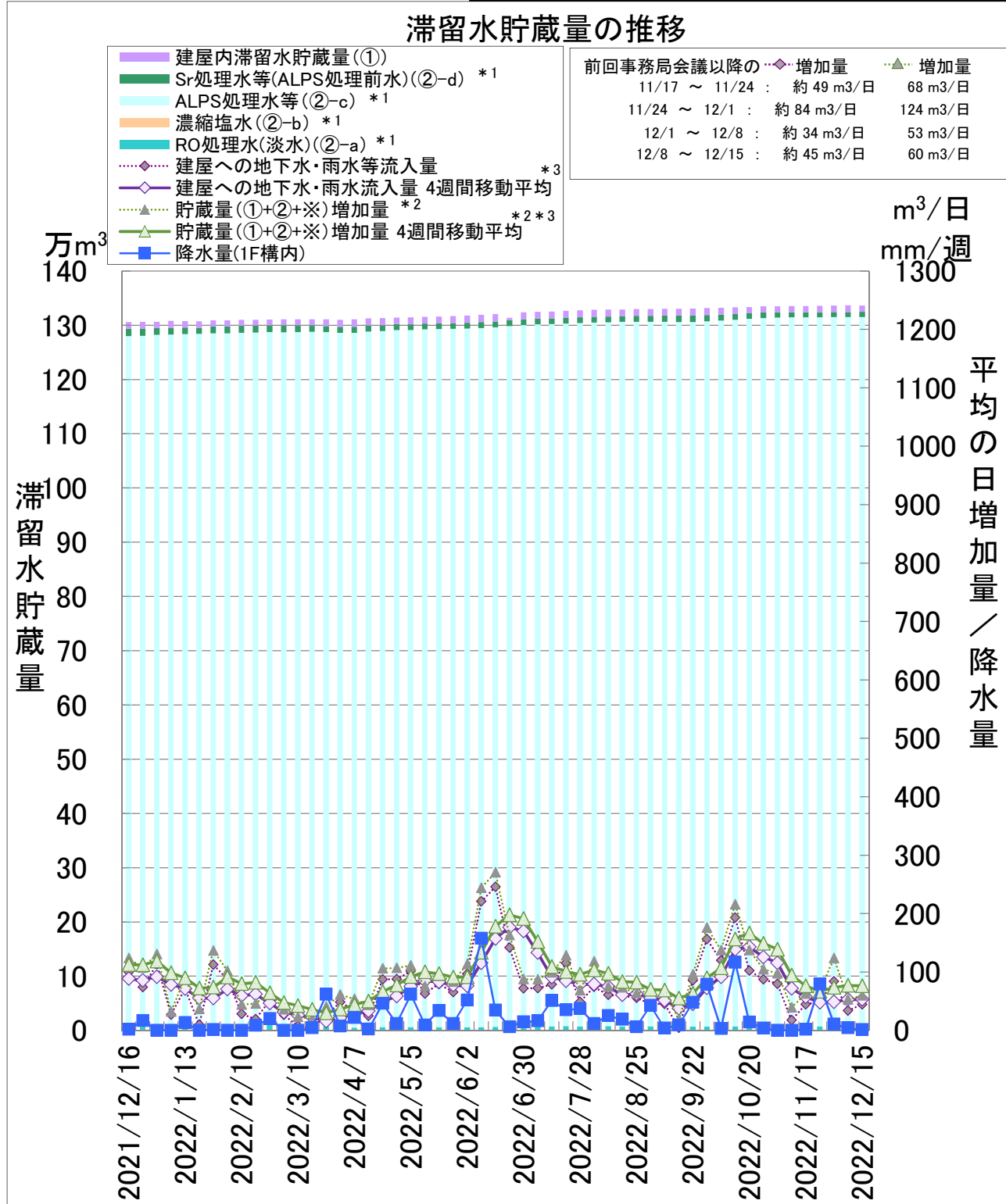
②-a RO処理水(淡水)	②-b 濃縮塩水(残水)	②-c ALPS処理水等	②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
水量:約1327306/1386100[m ³]*2,3,4 水位計0%以上の水量:1324526[m ³] タンク底部～水位計0%の水量(DS):約2780[m ³]			

+860[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] +203[m ³ /週]/±0[m ³ /週]			
--	--	--	--

②1～4号機タンク貯蔵量

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセル含む
※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記。端数処理上、水量の総和と異なる場合がある)
※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約40m³/週)、その他移送量(約40m³/週)の合計約80m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
※7 フランジ型タンクのタンク底部～水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める44

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量(②-aRO処理水(淡水))+[②-b濃縮塩水]+[②-cALPS処理水等]+[②-dSr処理水等(ALPS処理前水)]
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

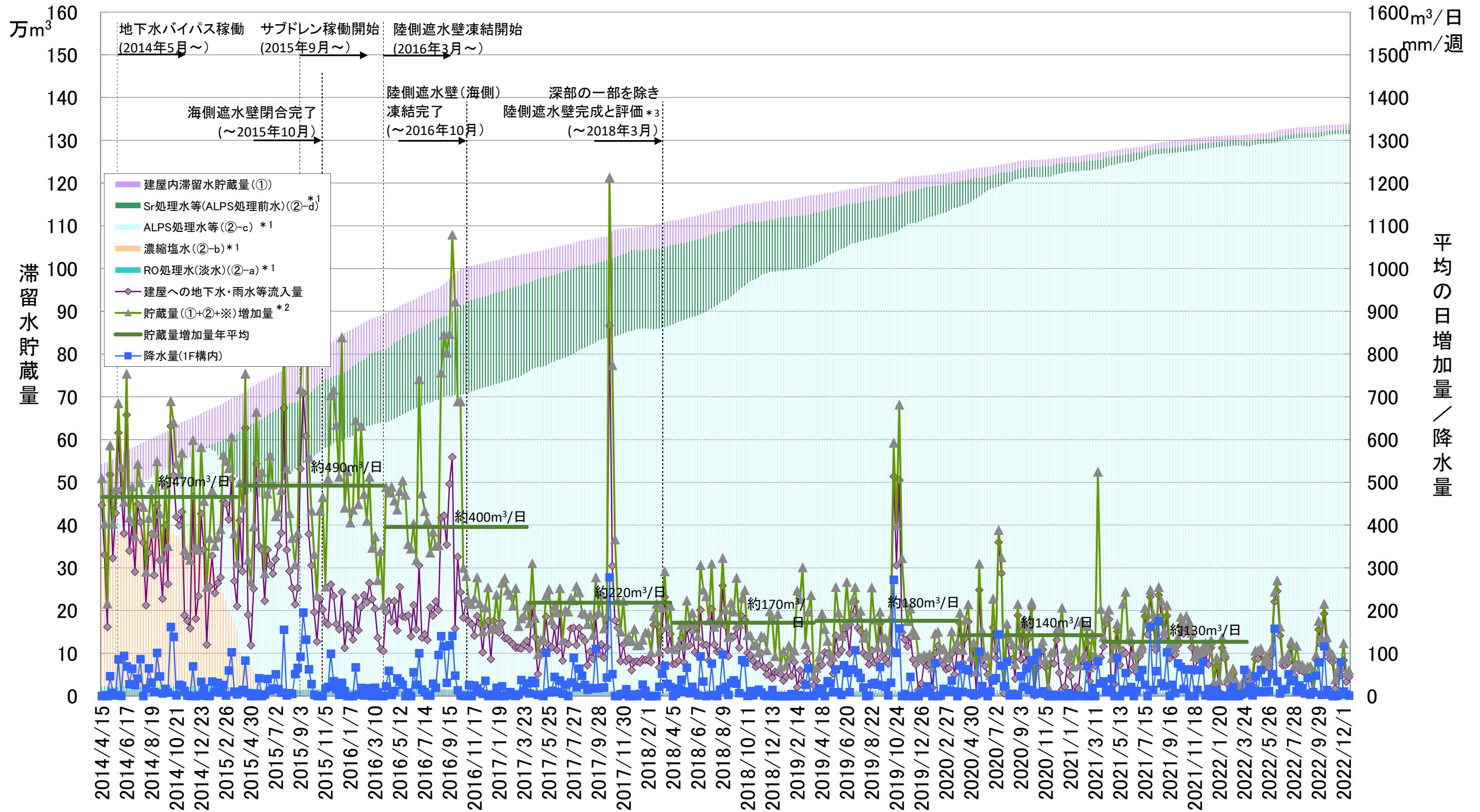
* 1: 水位計0%以上の水量
 * 2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]
 * 3: 貯蔵量増加量並びに建屋への地下水・雨水流入量の4週間移動平均を追加(2022/11/24)

多核種除去設備等の稼働状況

設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量 [m³/日]
	[m³/週] ^{注2)}	[m³/4週]	
既設多核種除去設備	73	149	750以上
増設多核種除去設備	559	2,230	750以上
高性能多核種除去設備	0	115	500以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	632	2,494	

注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。
 注2) 処理量(632m³)の内訳はRO濃縮塩水処理量 0m³、Sr処理水処理量 582m³、処理水処理量 0m³、薬液注入量他 50m³^{注3)}
 注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(23m³)を含む。
 注4) 設備の出口積算流量計を基に算出

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

[[②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-cALPS処理水等]+[②-dSr処理水等(ALPS処理前水)]]

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

* 1: 水位計0%以上の水量

* 2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]

* 3: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

各エリア別タンク一覧

(2022年12月15日 現在)

1～4号機用貯蔵タンク

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B	B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
D	D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
		12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	
	E	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	G1	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G1南	G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3	G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G4北	G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G4南	G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G6	G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G7	G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H3	H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H4北	H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H6(I)	H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H8	H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	H8南	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水	
		3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
J1	J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J2	J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
		5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K2	K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
K3	K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種除去設備	高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除去設備	増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	合計	1066			Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、R:RO濃縮水処理設備	

濃縮廃液

D	D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

エリア		基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
		5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
		2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	F1	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
		3	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Nタンク
合計	合計	31				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

リスク締点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約4,300 (2022.9.15時点) 約1,550 (2022.12.8時点)	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,100 (2022.9.15時点) 約7,150 (2022.12.8時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY, KURION, ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を 実測して算出
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 2.6E2 (2022.9.21) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 2.7E2 (2022.9.21) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留 当該タンクは清排水処理系統の一部となっている 為、今後準備が出来次第、清排水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,940 (2022.9.10)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 5.3E5 Sr-90: 1.1E2 (2022.9.9) 4.7E5 9.9E1 (2022.10.3)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始 当該タンクは清排水処理系統の一部となっている 為、今後準備が出来次第、清排水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
					【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.9.10)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源 当該タンクは清排水処理系統の一部となっている 為、今後準備が出来次第、清排水処理系統に加え、本リストからは削除する予定

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.5E4 (2022.10.4) 1.9E4 (2022.12.8) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.2E4 (2022.10.5) 1.4E4 (2022.12.7) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.1E3 (2022.10.18) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2022.1)	Cs-134: ND~2.5E2 Cs-137: 1.4E2~3.3E3 全β: 1.4E2~7.7E3 H-3: ND~7.6E2 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約410 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2022.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防炎用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンピット No.15.16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15.16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 8.9E3 1.3E3 Cs-137: 3.7E5 5.3E4 全β: 4.2E5 6.2E4 H-3: 1.3E4 3.5E2 (2022.9.16) (2022.11.5)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディープウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	【No.47.48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.12.15時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建 屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 4.4E2 1.5E2 Cs-137: 1.7E4 5.8E3 全β: 2.0E4 7.1E3 H-3: ND (2022.11.14) (2022.12.12)	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン 建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.4E1 1.4E1 Cs-137: 8.0E2 8.1E2 全β: 1.1E3 1.1E3 H-3: ND (2022.11.14) (2022.12.12)	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン 建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: ND ND Cs-137: 3.5E2 2.6E2 全β: 5.0E2 2.9E2 H-3: ND (2022.10.12) (2022.11.9)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1170 (2022.9.14)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: 3.7E1 (2022.10.13) (2022.11.16)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1630 (2022.9.14)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: ND (2022.10.26) (2022.11.8)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5/6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.6E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留 当該タンクは、今後汚濁水処理系統の一部として管理予定となっている。為、異種が出来次第、汚濁水処理系統に加え、本リストからは削除する予定
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~4.5E1 (2022.11.16) ND~3.6E1 (2022.12.14)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約6,900 (2022.9.15時点) 約6,400 (2022.12.8時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.5E0 全β: ND H-3: ND (2022.10.20) 【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 2.0E0 全β: ND H-3: 1.2E2 (2022.10.21)	
46	排気筒ドレンサンプルット	・1/2号排気筒ドレンサンプルット ・3/4号排気筒ドレンサンプルット ・5/6号排気筒ドレンサンプルット ・集中RW排気筒ドレンサンプルット	1~4号機周辺 1~4号機周辺 5/6号機周辺 1~4号機周辺	約0.3※ ※適宜溜まり水の移送を実施 約2 約7.6 (2020.3.12) 約10	Cs-134: 2.5E5 2.0E5 Cs-137: 9.8E6 8.4E6 全β: 1.1E7 8.3E6 (2022.9.30) (2022.10.27) Cs-134: 1.5E1 5.7E2 Cs-137: 5.7E2 6.5E3 全β: ND (2022.3.31) Cs-134: ND 9.5E0 Cs-137: 2.0E0 ND 全β: ND (2022.3.30) Cs-134: 1.3E1 3.0E2 Cs-137: 3.0E2 2.7E2 全β: ND (2022.2.16)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。(2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。(2022.4.27)
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表【1/3】 (1~4号機周辺の溜まり水があるもしくは過去に溜まり水があった建屋に接続しているトレンチ等)

【別紙 1-1】

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分※ ⁸	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量 (m ³)
1- 1	水処理建屋~1号機T/B連絡ダクト	対策完了 2016. 8									
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.2	2.5E+02	8.3E+03	8.5E+03	7.7E+03	7.6E+02	C	TP+0.674 (OP+2.110)	4
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ (OP+4.000) 1号機電源ケーブルトレンチ (OP+7.000)	対策完了 2016. 7									
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト	対策完了 2016. 9									
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※ ³	0.2	<6.8E+00	4.1E+01	4.1E+01	4.5E+01	1.3E+02	C	TP+2.824 (OP+4.260)	408
1- 7	1号機共通配管ダクト (北側)	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 8	1号機共通配管ダクト (東側)	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり	0.2	<7.4E+00	1.4E+02	1.4E+02	1.4E+02	<1.0E+02	C	TP+6.314 (OP+7.750)	167
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 12	2~4号機DG連絡ダクト	あり	0.2	<8.4E+00	9.3E+01	9.3E+01	1.0E+02	<1.0E+02	C	TP+7.604 (OP+9.040)	1,595
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 14	2号機共通配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 4									
1- 16	2~3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	あり	0.2	2.4E+01	9.0E+02	9.2E+02	8.2E+02	5.0E+02	C	TP+3.804 (OP+5.240)	1
1- 18	2号機海水配管 (SW) トレンチ	対策完了 2016. 6									
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	あり	0.2	9.3E+00	1.9E+02	2.0E+02	2.0E+02	<1.0E+02	C	TP+6.265 (OP+7.701)	15
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 11									
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	-※ ⁷	-	-	-	-	-	-	-	TP+7.134 (OP+8.570)	828
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2019. 12									
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 5									
1- 25	3号機オフガス配管ダクト (北側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 26	3号機オフガス配管ダクト (南側)	あり	0.3	4.7E+01	1.3E+03	1.4E+03	1.6E+03	<1.2E+02	C	TP+6.150 (OP+7.586)	9
1- 27	重油配管トレンチ (3, 4号機東側)	あり	0.2	2.2E+01	5.7E+02	5.9E+02	6.6E+02	<1.2E+02	C	TP+8.207 (OP+9.643)	5
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2020. 3									
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 10									
1- 31	4号機海水配管 (SW) トレンチ	対策完了 2016. 12									
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上 (2号機廃棄物系共通配管ダクト)	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上 (2号機廃棄物系共通配管分岐ダクト)	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 34	共用プール連絡ダクト	対策完了 2013. 2									
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 36	4号機共通配管ダクト	対策完了 2016. 12									
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (北側)_20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (北側)_20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151216 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151222 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151228 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160106 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160113 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160120 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160127	対策完了 2017. 7									
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 39	4号機海水配管トレンチ	対策完了 2015. 12									
1- 40	共用プール連絡ダクト	対策完了 2016. 12									
										計	3,032

※¹ 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※² 支障物により内部状況が確認できない箇所

※³ 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※⁴ 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※⁵ トレンチ (ダクト) 内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※⁶ 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※⁷ 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※⁸ 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/LLレベル以上

(Cs計濃度) B: 10⁵Bq/LLレベル

C: 10⁴Bq/LLレベル以下

